



8月4日、愛知工科大学と生命の海科学館が連携し、高校生を対象とした「数式をアートしよう！」講座が行われました。

参加した蒲郡・三谷水産・幸田高校の生徒たちは、午前中、大学で「数式」から画像や映像を作りだすソフトウェアを使い、放物線や半球状の立体的でカラフルな画像を作りました。このソフトウェアは情報メディア学科の小沢慎治教授（画像処理）と杉森順子准教授（メディアアート・映像）が共同で、この講座のために新たに開発したものです。午後からは科学館に移動し、制作した映像を館内の展示物、壁、天井、床、壁など思いおもいの場所に投影しては初めてのメディアアート体験を楽しんでいました。科学館を見学に訪れた人たちも、化石などに投影された美しい図形のアート映像に魅入られていました。

数式をアートしてみました！

市と愛知工科大学の連携講座を開催

市と愛知工科大学・愛知工科大学自動車短期大学は、今年4月、教育、文化、福祉からまちづくりに至る各分野において連携協定を結びました。

その連携事業の第1弾として、8月、愛知工科大学などで講座が行われました。そして9月には、NHK放送文化賞を受賞した愛知工科大学の小沢慎治教授による講演会も行われます。



NHK放送文化賞を受賞した愛知工科大学の小沢慎治教授による記念講演を開催します。

日本の放送文化に大きな貢献があったことが認められ、愛知工科大学の小沢慎治教授（画像処理技術）が、第62回日本放送協会放送文化賞を受賞しました。

小沢さんは、カメラを使った動画像から物や人を自動で認識する画像処理システムの研究が専門で、スポーツ選手の動きを解析する技術の先駆者として、スポーツ番組に新たな映像表現をもたらしたことが評価されての受賞となりました。この技術は、ワールドカップなど、サッカー中継でのオフサイドライン表示や水泳競技のペース表示ラインなどで私たちも目にすることができます。

また、画像処理から事故や渋滞などの問題を解決する「高度交通システム」の研究の分野でも活躍されています。



講師プロフィール／昭和18年東京都生。慶應義塾大学教授を経て、平成19年に愛知工科大学へ。工学部情報メディア学科・教授。専門は画像情報処理。

市民講座 蒲郡一受けた科学授業

「テレビ放送の未来を切り開く、画像処理の最先端技術とは」

とき 9月18日(日) 午後3時～4時30分

ところ 生命の海科学館 メディアホール

講師 愛知工科大学 教授 小沢慎治

申し込み 不要。直接会場にお越しください。(参加無料)